

## よくあるご質問（選考会・研修について）

### Q：選考会の内容はどのようなものですか？

A：選考会当日は、①日本語（外人面接官は英語）で皆さん自身に関する一般的な質問 ②専門英語での臨床問題の質問の2種類の内容の面接を行います。

2009年までは複数対複数（5対5など）での面接を行なってきましたが、2010年からは1対1の面接を約20分、3-4セッション（面接）行なう予定です。

外人の面接官は全て英語、日本人の場合は日本語と英語両方で行ないます。各面接は皆さんを評価することが第一目的ではありませんが、教育目的もあるので各セッションの終わりの5分くらいは面接官からのフィードバックをいたします。

受験人数により異なりますが、全ての面接終了は16：00頃を予定しております。面接終了後は選考委員の先生方から全体の講評を頂く時間もとっております。また、個人的に各面接官に質問したり相談する時間も十分取ります。これが当財団開催の選考会に参加するメリットでもあります。

### Q：選考会の倍率・合格者数はどれくらいですか？

A：倍率や合格者数は年によって異なり、原則として公表しておりませんが、平均的に、約30名が受験した場合には2~4名が即日合格となり、その後厳正な審査により、最終的には十から十数名程度が合格となります。

毎年合格者の人数を制限（確定）しているのではなく、各人の能力で合否を決めていますので、全員合格・全員不合格ということも極端な例ですが、ありえます。

### Q：研修先は研修生が選択できるのですか？

A：選択できますが、必ずしも希望に添えるとは限りません。

ハワイ大学では内科・外科・小児科などの研修を行うことができます。ハワイ大学で行なわれる研修はプログラム化されており、研修内容が確定しています。（講義とラウンド、ベッドサイドや手術場などを組み合わせた内容）

トーマスジェファソン大学ではハワイ大学で研修できる科以外に、救急科・小児科・腫瘍科（内科）などの研修を行うことができます。

トーマスジェファソン大学で行なわれる研修はプログラム化されていないため、研修内容は確定していません。（ご希望をご連絡頂いてから大学側と交渉し、確定となります）

※内科・外科の場合は、基本的にハワイ大学での研修となります。

### Q：2ヶ所の病院で1ヶ月ずつ（計2ヶ月）研修することはできますか？

A：原則としてできません。1回の合格につき研修できる病院は1ヶ所です。2ヶ所の病院での研修を希望する方については、別途委員会を開催し、できる限りご希望に添うよう検討いたします。

Q：研修で実際に患者の診療に関わることはできますか？

A：研修内容はどの研修先においても基本的に見学となります。

アメリカで医師として実際の臨床に関わるためには、州の研修用ライセンスと、高額な医療過誤保険、そして病院からの許可が必要です。これには、気が遠くなる程大量の書類を作成しなければなりません。当然多くの時間をそのために費やすこととなります。（大分前には可能であったのですが）現在は不可能ということです。

従って、日本人の医師は、たとえECFMG certificateを持っていても、実際にアメリカの病院で、患者の診療を行うことは、現実的ではありません。エクスターン研修のメリットは、数多くの友人・知人をつくり情報を仕入れるとともに、推薦状を書いていただける指導医を見つけるためのきっかけを得られるところにあると思います。そして短期間ではありますが自分を評価してもらう機会となります。

エクスターン研修でどの範囲までできるか（関われるか）はいかに自分の熱意を伝えられるかにかかってきます。すなわち、「見学」が原則で患者診療には参加できませんが、回診やカンファレンスなどで発言したり、指導医や研修医と交わることは十分でき、自らを「売り出す」チャンスとなります。

Q：将来アメリカでのレジデント研修を希望していますが、何か他にサジェスションはありませんか？

A：USMLEはあらゆるテストに「必ず一回」で、しかも高得点で合格してください。

その他のサジェスションは、選考会に参加されるといろいろ講師の先生から得られるはずです。